

岡山県立笠岡商業高等学校 < 笠岡商業高校 笠SHOP探究班 >

生きた化石と人類の共栄～人類を救う！カブトガニ牧場～

<p>概要</p>	<p>地元で生息するカブトガニの血液がCOVID-19のワクチン開発原料に使用されていることに着目し、養殖による大量生産で国内製薬会社にその血液を供給するプラン。</p>
<p>商品・サービス</p>	<ul style="list-style-type: none"> 岡山県笠岡市において国から天然記念物に指定されているカブトガニについて、その保護地域外の周辺地域で生息条件の好適地を選定して養殖事業(目標1万匹)を展開する。 カブトガニ成体1匹から血液100mlを採取し、1ℓあたり180万円で国内製薬会社に販売する。
<p>ポイント</p>	<ul style="list-style-type: none"> COVID-19のワクチン開発に必要な検査薬(ライセート試薬)の原料となるカブトガニの血液は米国からの輸入に頼っているため、国産が可能になる。 養殖を行う「カブトガニ牧場」をかつての天然記念物エリアをはじめ周辺の笠岡干拓地に広げることにより自然環境保護地域の拡大につながる。



ビジネスモデルの概要



笠岡市におけるカブトガニ牧場のエリア